

トからの出向者2名、コンサルタントのインターンの学生1名など、飯田市外の専門家を含め、5名で構成されている。

現在行なっている主な事業は、太陽光発電事業と商店街・小規模ESCO事業の2種類であり、太陽光発電施設の設置には、市内業者のみを補助対象とするなど、地域内における経済循環の仕組みづくりを目指しているが、ESCO診断に際しては、名古屋のESCO事業者に外部委託している状況にある。

(2) 市民出資の仕組み

事業の展開にかかる費用は、「環境と経済の好循環まちモデル事業」の補助金と市民出資、寄付により賄われている。

用意された出資コース

	A号匿名組合契約	B号匿名組合契約
1口金額	10万円	50万円
出資募集口数（総額）	最大1,500口 (1億5,000万円)	103口 (5,150万円)
目標年間分配利回り	2%	3.3%
契約期間	10年間	15年間（延長の場合有）
利益分配及び現金分配のルール（優先順位）	優先分配	劣後分配
出資募集期間	2005年2月～2005年5月31日 (ただし、当社の都合により募集期間を延長すること、および募集枠を超えた場合期間前に終了することがある。)	
出資の形態	商法（第535条から542条）に規定された匿名組合契約に基づく出資	
申込口数制限	なし	
申し込みの優先順位	先着順（匿名組合契約締結日による）	
申込手数料（税込み金額）	申込時の手数料として、出資額に応じてA号、B号のそれぞれ一契約につき、 ①出資金額10万円の場合……………3,500円 ②出資金額20万円以上の場合……………5,000円	

市民出資は「南信州おひさまファンド」と称し、匿名組合契約を用いており、リスクに応じた2つの出資コースを設けている。出資者募集に際しては、Bタイプは募集1週



りんご並木に整備されたモニュメント、架台には出資者名簿がつけられている